

上場企業の皆様

謹啓 晩秋の候、貴社ますますご盛栄のこととお慶び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。この度は、「大学生対抗IRプレゼンコンテスト」への御協賛へのご検討、ありがとうございます。これまで質問の多かった項目などをまとめましたので、ご確認いただけますと幸いです。コンテストの成功に向け、参加大学生一同、頑張っていますので皆様のご協力をお願い致します。 謹白

学生投資連合 USIC

「大学生対抗IRプレゼンコンテスト」上場企業関係者向けQ&A
尚、以下の情報は例年の状況に基づいており、今大会の状況を保証するものではありません。

【コンテストの意義について】

Q. 「大学生対抗IRプレゼンコンテスト」の趣旨は？

A. 大学生の金融リテラシーの向上に貢献するとともに、証券界の現場から上場企業の魅力を大学生に向けて直接発信する他には無いイベントです。また、上場企業のIRの大切さを大学生に理解してもらいたいイベントです。

Q. 参加する企業のメリットは？

A. 企業がどう大学生の眼に映っているかという新鮮な視点を得ることが出来ます。また、金融リテラシー、CSR活動の一環としてアピールしていただけて結構です。毎年、各企業がリリース文を発表しております。

【担当大学生チームとのアクセスについて】

Q. 担当学生チームとは、どのような対応があるのか？

A. コンテストにあたって、大学生チームからの取材に対応していただけるようお願いいたします。その場合、資料提供のご協力、経営者インタビューなど、学生の求めに応じて可能な限りのご対応をお願いいたします。学生の能動的な活動がメインですが、企業IRサイドからの積極的なアドバイスをして頂いても結構です。学生が企業のメリットなどに気づかない時もあり、その場合は積極的なアドバイスをしていただけて結構です。企業と学生チームとの接触到制限は一切ありませんので、自由な活動をおすすめしています。

Q. 学生が作成した資料はもらえるのか？

A. 直接、担当の大学チームから入手してください。また、ホームページなどでの閲覧、IR・広報活動資料やパンフレット等への掲載も、大学チームの了解の元で展開していただけて結構です。

Q. コンテスト終了後に学生チームとコンタクトを取っていいか？

A. 問題ありません。過去の例では、コンテスト終了後に「懇親会・意見交換会の開催」「社内での再発表」「インターンとして招聘」「対談企画などでメディア露出」など、大学生との関係を構築された企業もいらっしゃいます。

【審査について】

Q. 審査員と体制は？

A. 審査員は2名です。日本証券アナリスト協会の貝増眞氏、会社四季報研究の第一人者でもある複眼経済塾の渡部清二を今年度も予定しております。

Q. 審査項目と審査内容は？

A. 「企業紹介」「事業の強み」「事業リスク」「財務分析」「業界分析」「業績分析」「作成資料」「プレゼン姿勢」「コロナ対策」の計9項目で、これらの基礎点に加え、審査員の話し合いによる結果が加わり、1位、2位、3位、審査員特別賞を決定し表彰します。

Q. 審査結果の内容について知ることは出来るか？

A. 審査員ごとの評点は開示しませんが、個別の得点は上場企業担当者様に後日お知らせ致します。他社の審査結果は開示する予定はありません。

【参加協力費について】

Q. 参加協力費はどのような形で活用？

A. 会場費(抽選会+本大会)、企業訪問やコンテスト参加に関わる学生の活動交通費補助、入賞チームの賞金、審査員・司会者・各スタッフ謝礼、メディア費用(動画撮影・編集+SPOCK・産経掲載関係)、オンライン配信費用、会場の備品代など、当コンテストに関する費用に充当させて頂きます。特に、北海道・九州など遠方からの参加が多く交通費補助に多く使用させて頂きます。先行して予算ベースで頂く都合、余剰金が発生する場合がございますが、本大会開催費用以外にも通常の組織運営費に充てさせて頂きます。尚、反対に赤字となる場合がございますが、幹部が補填するなどし、後日追加での徴収などはございません。

Q. 参加協力費はいつ、どのような形で支払うのか？

A. 学生投資連合事務局からメール添付の形でPDF御請求書を送付させて頂きます。用紙による原本の郵送が必要な場合は、別途、ご連絡ください。学生投資連合指定の銀行口座にお振込みを1月末までをお願い致します。コンテストの前の入金となりますが、経費が当日にかけて先行してかかるためです。ご了承ください。なお、振込期限に問題が生じる場合は、事前に事務局にご相談ください。また、天変地異等の不可抗力によりコンテストが開催できない場合は、責任を持ってご返金致します。

【大会当日について】

Q. コンテスト当日のスケジュールは？

A. 日本橋兜町・茅場町周辺が会場(FinGateやKabutoOneなど)となります。例年、平和不動産等の協力企業と相談の上、決定し

ております。具体的なプログラムについては時期が近づきましたら、メール添付でお送り致します。なお、会場については関係者の途中退出など出入りは自由です。

Q. コンテスト会場の入場者について。

A. コンテスト当日は、参加上場企業関係者、参加大学チームの大学生、見学希望の大学生、事前に承認したメディア関係のみの参加に限ります。100名程度を想定していますが、対面開催の場合、感染対策のガイドラインなど検討を進めているところで

Q. 写真撮影等は自由か？

A. 写真撮影、動画撮影については自由です。

【メディア対応(招待等)について】

Q. メディアや他の上場企業関係者を招待していいか？

A. 新聞社などメディアへのアプローチは自由です。当日の参加のご招待者については、事前に事務局の方にご連絡ください。

以下は、一例です。参加企業と大学により、大きく異なりますのでご了承ください。

また、基本学生と企業の間で取り決めて頂くことをおすすめします。

【企業側負担について】

Q. MTG回数はどれくらいなのか

A. 最低複数回～最大でも5, 6回です。平均で3,4回かと思われます。

Q. 資料の作成には企業も関わらねばならないのか

A. 資料の作成自体は全て学生が行いますが、素材・資料提供の申し出があれば、可能な限り提供頂けると幸いです。

Q. プレゼン資料へのフィードバック含めて、コンテスト期間中はメールのやりとりなども頻繁に必要なのか

A. 訪問・ZOOMよりもメールでのやりとりを好む企業様もいらっしゃいます。その場合は学生さんに疑問があれば、適宜こちらに質問してくださいというケースもございました。但し、お忙しいと存じますので、メールでの連絡は必要最小限にし、訪問やZOOM時に疑問は解決というスタイルが多いです。尚、プレゼン資料に対するフィードバックは「情報の正確性」「未公開情報の有無」の確認のため、必ずお願い致します。併せて、アドバイス等あれば是非お願い致します。

Q. プレゼン自体の説明の仕方などもフィードバックが必要か

A. 必須ではありませんが、ご覧になり、アドバイス等あれば是非お願い致します。

Q. コンテスト当日は出席が必要なのか

A. コンテスト及び抽選会には最低1名の参加をお願い致します。コンテストは午後の6～7時間程・抽選会は1時間程お時間を頂戴しております。それぞれにコミュニケーションの場が設けられておりますため、参加をお願いしております。

Q. 社長など経営者とのMTGは必須か

A. 必須ではありませんので、可能な範囲でお願い致します。

Q. 企業側の必要な作業時間のイメージがあれば

A. 訪問・ZOOM対応1時間×4回、抽選会1時間、本大会7時間、その他3時間、計15時間をモデルプランとして挙げますが、企業により様々です。

【発信について】

Q. メディア露出について

A. 弊団体で連載中の「SankeiBiz」や毎年お世話になっています「STOCKVOICE」にも開催報告を予定。

また、IRコンテストについては、通年様々な一般公開のイベントで度々言及しております。直近ですと、東証のJPXアカデミーというイベントにて、動画を用いて紹介させて頂きました

例年、各社プレスリリースを主軸に展開されており、どのように活用頂いても問題ありません。

(学生の写真やコメントが必要な場合は、直接担当サークルにご連絡お願い致します)

もしお付き合いのあるメディア関係者様いらっしゃいましたら、弊団体にご紹介頂ければ、素材提供など、様々な形で最大限ご協力させて頂きます。

Q. 学内での発信について

A. 大学内での発信は、弊団体の管轄ではなく、各サークル「公認」や「非公認」など諸事情、異なってまいりますので、サークル個々の判断となります。是非サークルとご相談ください。

尚、USICとしては毎年1万部(累計発行部数24万部)発行し、加盟大学サークルを通じて全国の大学生に対して配布しておりますSPOCKの活用を考えております。今年度は新たな取り組みとして、本誌にIRコンテストの開催報告を掲載することを通じて、学生に発信・周知して参ります。

以上